

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和7年2月17日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 公明党議員団

代表者名 月田 光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	月田光明 松橋尚文 河合初恵 松原慶子
出 張 先	①岐阜県各務原市 ②埼玉県川越市
期 間	令和7年2月5日～令和7年2月7日（3日間）
用 務	①学びの森官民連携型賑わい拠点創出事業について ②5歳児健康診査について
調査（研修） 結果等の概要	別紙にて報告 政務活動等報告書
備 考	

- 注） 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

各務原市park—PFIについて

岐阜県各務原市のPark—PFI事業について、その中核施設でもあるKAKAMIGAHARA PARK BRIDGEにてお話を伺いました。



平成28年に学びの森（公園）内にあった公益施設に新たに公募された民間事業者がKAKAMIGAHARA STAND（かかみがはら スタンド）というカフェをオープンし、通常のカフェだけではなくマルシェなどのイベントを行い新たなコミュニティの場として活用されてきた。学びの森では毎年11月3日に「マーケット日和」という約300店が参加するマルシェを開催して行く中で、「常設のマーケット日和」として事業展開するために来場者や出店者にアンケート調査を実施。事業区域で14日間の社会実験を行い、その結果、季候や天候を気にせず遊べる施設が欲しい、テイクアウトができる気軽な飲食店があるとよい、小さな子どもも安心して遊ばせることができる遊具を設置してほしい、清潔なトイレが必要などの意見が寄せられた。

社会実験などの検証結果を踏まえ、令和元年に公募設置等指針を策定し、事業者公募を開始。

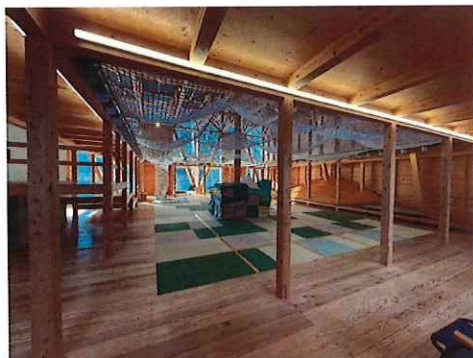
常設のマーケット日和をコンセプトに公園利用者のサービス向上と周辺エリアへの周遊性や暮らしの質の向上に資するものとして公募された。その結果、県内に本社を置く事業者と基本協定を結び、公園に隣接する福祉センターの臨時駐車場を活用し施設を建設し令和3年3月にKAKAMIHARA PARK BRIDGEがオープンした。

市は建設費の一部として国の社会資本整備総合交付金（賑わい創出事業）を活用し、国2千万円、市2千万円の計4千万円を補助している。

施設運営は民間事業者の収益に任されており、市から運営費の補助は出されておらず、屋外の公衆

トイレの光熱費を負担しているだけである。

また、土地の利用料金として年間約230万円が市の収入となっており、20年契約となっているため、最終的には建設費の補助分は回収できる見込みであるのと、固定資産税もあるため増収となる。施設は子ども向けの屋内遊技場と飲食売店があり、上記アンケートの結果にも合致した施設となっている。



行政視察報告2/2

岐阜県各務原市 2025年2月6日

「学びの森官民連携型賑わい拠点創出事業」

周辺には740台分の民間駐車場もあり、3時間まで無料となっていて、市内より岐阜県内、愛知県内からの利用者が多く、年間約6万人が利用している。

公園隣接の遊休地などがこのように活用されることで、公園利用者の利便性向上や賑わいの創出につながるばかりではなく、市の収入増にもつながっており、大変参考になる取り組みであった。



行政視察報告

埼玉県川越市 2025年2月7日

5歳児健康診査

同市は昨年度より事業をスタート。

対象は4歳半から5歳半までの就学前児童。

国は悉皆調査を推奨しているが、同市は抽出調査。

その理由は、一つには担当医師の確保に課題がある。

二つには、すでに療育相談等必要な支援を受けている子どもには必要ない。

さらに、保健師や市の事務職体制上、悉皆にする余裕がない。

そこで、全員アンケートでニーズを的確に把握し、支援を必要とする子どもを発見するとともに、保護者の受容を促すことに努めている。

健診は集団方式を採用。

実際の模様を動画で視聴。

随所に様々な工夫が見て取れた。

健診項目は身体発育状況、栄養状態、精神発達状況、言語障害の有無、育児上問題となる事項、その他の疾病及び異常の有無等。

安心して入学式を迎えられるために就学前健診を行うことは必要不可欠。

尚、健診費用は全額市費、受診者負担はなし。

ちなみに、国は悉皆調査を実施する自治体（2、3年後の実施予定も含む）に対して5割を補助する。

